



# 防災、教育、観光分野でのWi-Fi活用事例を紹介 「Wi-Fiの効果的な整備や活用に関する説明会」を開催

総務省北陸総合通信局（局長 濱島 秀夫）は、平成29年12月22日（金）石川県地場産業振興センターにおいて、防災、教育、観光の各施設等におけるWi-Fiの効果的な整備や活用法及び総務省の支援施策を紹介する「Wi-Fiの効果的な整備や活用に関する説明会」を開催しました。説明会には、地方公共団体（情報、防災、教育、観光の担当部署）、Wi-Fi整備に関連する民間企業などから約80名が参加しました。

はじめに、総務省情報流通行政局地域通信振興課の加藤主税課長が「災害時だけじゃもったいない、Wi-Fiの効果的な整備や活用法（防災×教育・観光）」と題し、防災目的で整備するWi-Fi環境の通常時における教育や観光などへの活用法を説明しました。また、平成28年の熊本地震の際にWi-Fiが有効活用された事例を、被害状況や復旧・復興状況などをまとめた熊本市のレポートを基にして紹介しました。

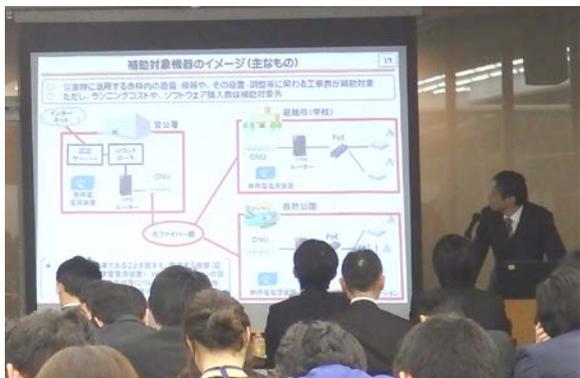
続いて、文部科学省生涯学習政策局情報教育課の松本 修専門職が「新学習指導要領の実施に向けた教育の情報化の推進」と題し、教育現場の情報化への取組やICT環境整備の現状と対応について紹介しました。

最後に、長野県辰野町まちづくり政策課の矢ヶ崎 和広情報通信係長が「地域コミュニケーションツールとして活用を目指す防災情報ステーション」と題し、総務省の補助事業によるWi-Fi環境整備事例の紹介とそれを活用するアプリケーションの構築に取り組んだ経緯や工夫点・課題点などを説明しました。

質疑応答では、参加者からWi-Fi整備に関する具体的な質問が数多く出され、関心の高さが伺われました。



写真上＝説明会の様子



Wi-Fiの効果的な整備や活用事例を説明  
写真左＝総務省の加藤課長、写真右＝長野県辰野町の矢ヶ崎係長



教育現場におけるICT環境整備の取組を紹介  
写真上＝文部科学省の松本専門職

お問い合わせ先 情報通信部情報通信振興室  
076-233-4430